

## ■テーマ： 学校や地域の課題解決や教育活動の変化

	発表テーマ	発表内容	発表者
1	子どもたちの「ほっと」「もっと」「はっと」を支える学校支援センター	学校教育の課題解決に向け、地域住民・保護者・専門性を生かした外部講師の教育力を活用した、学校支援センターの活動	群馬県・伊勢崎市・北小学校 校長 諏訪博昭 教諭 吉村明美
2	「参画」と「参加」による持続的・発展的コミュニティ・スクールの構築	聖籠町の今後の目指す方向と地域に愛される学校づくり、地域を愛する子どもの育成に向けた地域と学校が協働して行動するCSの取組	新潟県・聖籠町・山倉小学校 学校運営協議会 会長 村上達朗 山倉小学校 校長 藤井 聡 聖籠町教育委員会 参事 五十嵐喜代春
3	共育・協育・響育で高め合う汐なりコミュニティ・スクールの取組	汐なりCSが企画、運営する「汐なり教育の日」を中核に、学校と保護者、地域が連携し、一体となって、よりよい教育活動をつくる取組	新潟県・上越市・直江津小学校 学校運営協議会 会長 小林義之 事務局長 渡邊由里子 事務局次長 松岡博志

## ■コーディネーター（助言者）



広島経済大学 教授

志々田まなみ

1975年、愛知県生まれ。広島大学大学院教育学研究科修了後、本年度年より現職。平成24(2012)からは広島県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャーも兼務。専門分野は生涯学習論、社会教育学。とくに近年では、学校・家庭・地域の連携協力に関心があり、平成26(2014)年度には「学校運営協議会と学校支援地域本部が連携した「地域とともにある学校」のあり方に関する研究」(文部科学省委託事業「学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究」・岡山大学)に参加し、全国調査等を行っている。

# 2015 全国コミュニティ・スクール 研究大会 in 上越

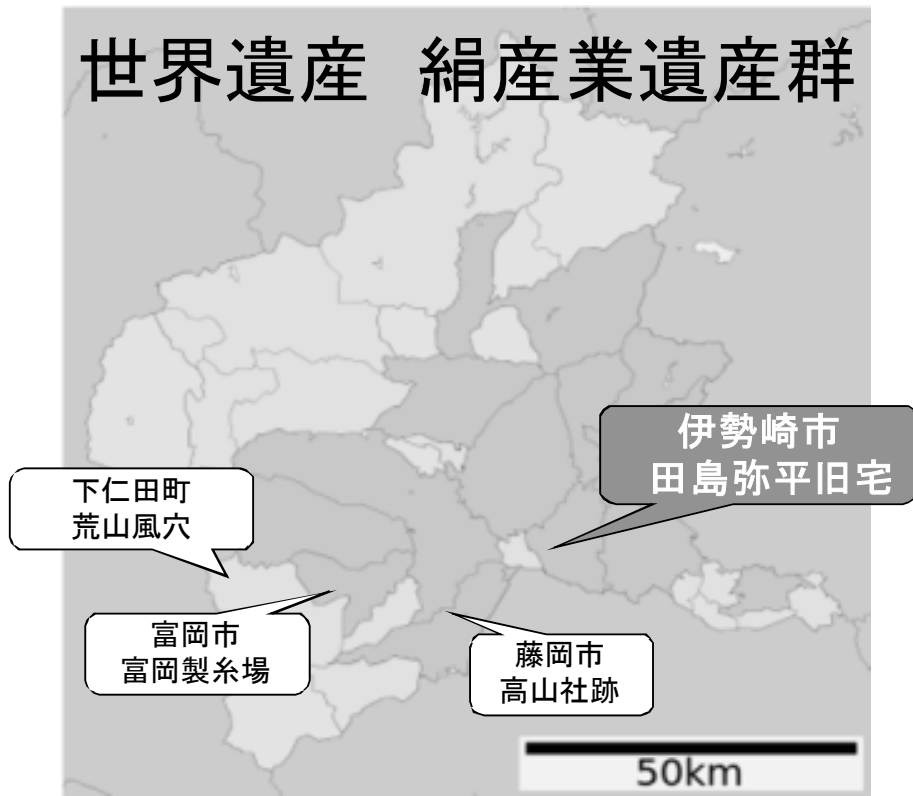
## 実践発表

群馬県伊勢崎市立北小学校



人口 211,124人

# 世界遺産 絹産業遺産群



# 世界遺産 絹産業遺産群



北小学校

学校が街 街が学校



旧時報鐘楼

赤石学校 門柱

学校や地域の教育課題

学校と地域の活性化

市街化整備地域 高齢化

校区内の児童数の減少

## 学校や地域の教育課題

### 個や特性に配慮した教育活動の推進

発達相談室 通級指導 (H26年度)

※市内11小学校より 児童 234人

言語・情緒・LD/ADHD

※保育園・幼稚園より 幼児 60人

---

## 学校や地域の教育課題

### 特認校制による家庭・地域の広がり

特認校制度(H21～) 全児童数 468人

181人 約39%

※学校選択の理由

特別支援教育 伝統 地理 等

# 課題解決に向けて

(1) 学校・地域の活性化

(2) 個や特性に配慮した教育活動の推進

(3) 特認校制による家庭・地域の広がり

---

子どもたちの

「ほっと」「もっと」「はっと」を支える

学校支援センター



伊勢崎市立北小学校

学校支援ボランティアの活動から

H27.7.31 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 上越

## 北小学校支援ボランティア 昨年度の取り組み（のべ人数）

安全パトロール	7224人
図書ボランティア	257人
プールボランティア	85人
クラブボランティア	100人
学習ボランティア	894人

# 北小学校を支える 学校支援ボランティアのみなさん

## <年間・期間の活動>

- ・ 安全パトロール
- ・ 図書ボランティア
- ・ プールボランティア
- ・ クラブボランティア
- ・ 特別支援ボランティア
- ・ 昔遊びボランティア

## <随時の活動>

- ・ 学習支援ボランティア  
全校リーダー(竹内さん)
- 1年グループ(西澤さん)
- 2年グループ(石川さん)
- 3年グループ(相澤さん)
- 4年グループ(田村さん)
- 5年グループ(吉田さん)
- 6年グループ(黒澤さん)

## 本校の学校課題

1.地域力の活用・地域との連携を深めたい。



2.一人一人の子どもたちの学びにこたえたい。



3.保護者間のつながりを深めたい。





## 1. 地域力の活用・地域との連携

地域人材を活用する 安全パトロール(長寿会のみなさん)



地域人材の活用 茶道クラブ(外部講師)



地域人材を活用する 3年「ふるさと学習」(まちガイドさん)



地域人材を活用する 2年「まちたんけん」  
(本町商店街のみなさん)



## 1. 地域力の活用・地域との連携

地域人材の活用 読み聞かせ(図書ボランティア)



子どもたちの  
「はっと」(発見)を引き出す

## 2. 一人一人の子どもたちの学びに

きめ細かな指導 5年生家庭科(学習ボランティア)



## きめ細かな指導 水泳指導(プールボランティア)



## 本物にふれる学び 5年総合

「世界の国を知ろう」(保護者・共愛学園留学生)



## 2. 一人一人の子どもたちの学びに

本物にふれる学び 北小学校オープンデー

「紙芝居」「福祉学習」「食育指導」「生き方講座」



子どもたちの  
「もっと」（意欲）にこたえる

## 3. 保護者間のつながりを

ボランティア情報交換会 図書ボランティア



### 3. 保護者間のつながりを

ボランティア情報交換会 学習ボランティア

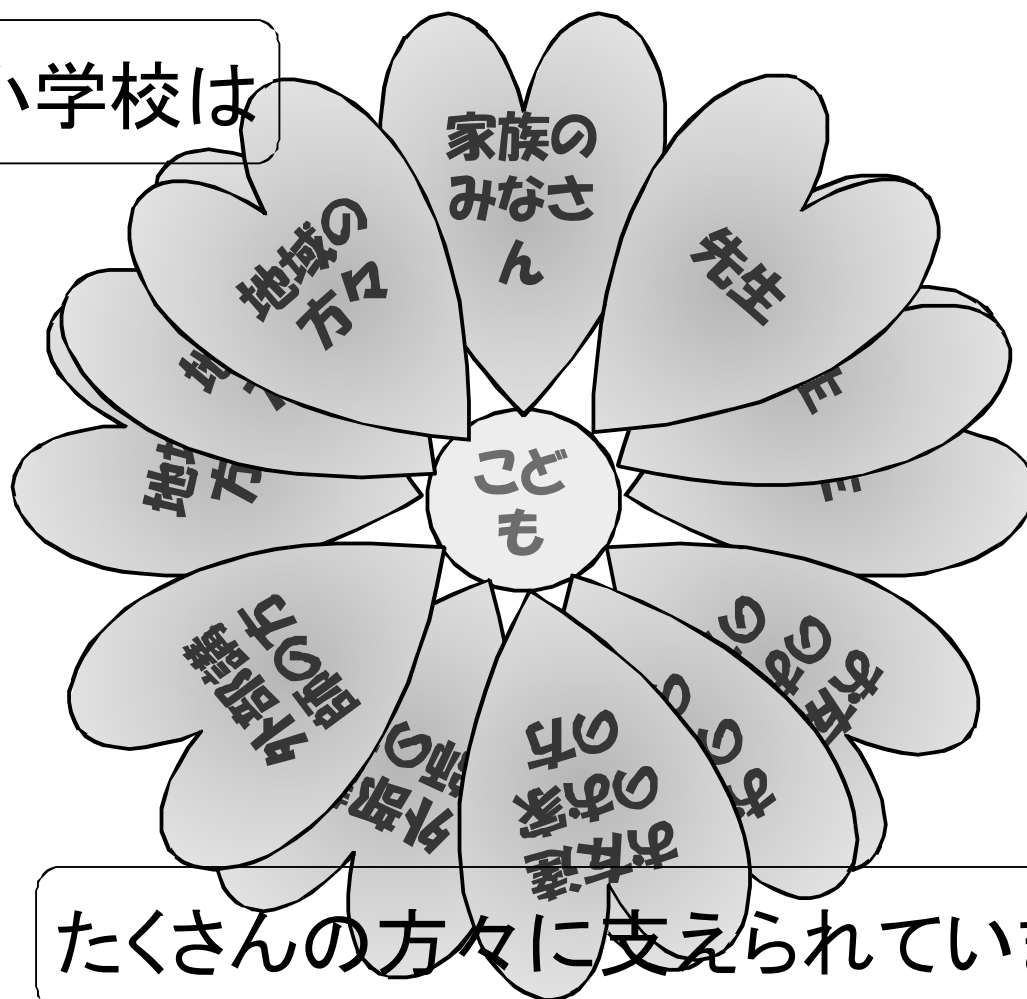


## 昨年度の主な活動

### 4月

ボランティアリーダー確認  
安全パトロール(通年)  
学校支援ボランティア募集  
1年生 下校指導

北小学校は



たくさんの方々を支えられています

## 児童の作文から

### 学習支援ボランティアのみなさんへ

私は、6年間、ボランティアのみなさんにたくさんお世話になりました。特に、5、6年生の家庭科では、ミシンの使い方や料理のしかたを教えていただきました。とても親切に教えて下さったので、上手に作ることができました。ボランティアのみなさんに教えてもらえなかったら、最後まで上手に作ることはできなかったと思います。いつも困ったときに支えて下さってまた、忙しい中、私たちに色々な事を教えて下さって、ありがとうございました。

中学校へ行ったら、このように、たくさんのボランティアさんに囲まれて、安心して授業をすることは減ると思うので、これまでに学んだ事を大切に、今度は自分自身の力でがんばっていこうと思います。

(3月11日 ボランティア情報交換会にて 6学年 女子)

こどもたちに  
生き生きとした 学びを

子どもたちの  
「ほっと」(安心)を支え、  
「もっと」(意欲)に応え、  
「はっと」(発見)を引き出す  
学校支援センター



H26  
ボランティア  
登録者数232人  
のべ活動人数  
8560人

H27  
ボランティア  
登録数  
295人

学 校 が 街  
街 が 学 校



2015全国コミュニティ・スクール研究大会in上越

第2分科会「学校や地域の課題解決や教育活動の変化」  
聖籠町コミュニティ・スクールの取組

～「参画」と「参加」による学校づくり～

平成27年7月31日  
新潟県聖籠町教育委員会



## 聖籠町の概要①

タウンマップ TOWN MAP



面積 約38km<sup>2</sup>  
人口 約1万4千人

聖籠町は新潟県の北部、飯豊連峰に源を発する加治川下流の海岸地帯に位置し、全体的にほぼ平坦な地形で、**豊かな穀倉地帯**です。また、「**果樹の里**」と呼ばれる程に果樹栽培が盛んで、サクランボ、ぶどう、桃、梨などの果物が四季にわたり、豊富に産出されます。

一方、昭和38年から開発が始まった特定重要港湾の新潟東港の後背地に広がる町として、**造成された工業団地への企業進出により、環日本海の対岸貿易を視野に入れた工業港の町**としても注目されています。

スポーツの振興にも力を入れており、現在サッカーJ1リーグで活躍中の**アルビレックス新潟のホームタウン**としてクラブハウス・練習グラウンドを構え、町をあげての応援を行っているところです。また、平成14年度11月には、当面は合併せずに、小さいながらも個性的な町づくりを進めていくことを決断しました。そのためにもこれまで以上に将来を見据え、計画的、効率的な行政運営を行っていかねばならないと決意を新たにしているところです。

みなさまも、豊かな自然と活気にあふれた私たちの町の姿をこのホームページを通して感じ取っていただければ幸いです。

聖籠町長 渡邊 廣吉

## 聖籠町の概要②

H27. 5. 1現在

【0歳から2歳児】

私立保育園（町内に4園）

在宅児

保育園 204名  
在宅児 237名  
計 441名

【3歳から5歳児】

ほぼ全員が公立幼稚園に入園

蓮野こども園

蓮瀉こども園

亀代こども園

456名

↓ほぼ全員が ↓同じ集団で ↓小学校へ入学

蓮野小学校  
(12学級)

山倉小学校  
(13学級)

亀代小学校  
(12学級)

805名

↓  
聖籠中学校 (16学級)

413名

平成13年4月、旧聖籠中、亀代中を統合、教科センター方式を採用

## 聖籠町の概要③

- 平成27年度 当初予算総額 約70億円  
教育費 約13億9千万円 (19.8%)
- 第4次聖籠町総合計画(2011~2020)の基本理念

緑・ふれあい・夢づくり  
～協働による町民自治の実現～

- 教育分野の基本計画

↓  
学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

- I いきいきと学ぶ子どもたちの教育
- II 豊かな感性の醸成
- III 豊かな国際感覚の醸成

## 統合中学校開校まで

- 昭和30年 聖籠村と亀代村が合併し、現在の聖籠町に
- 平成 7年「統合中学校集落座談会」の開催
- 平成 8年「統合中学校建設推進委員会」設立  
委員20名中17名が一般町民
- 平成11年「統合中学校を育てる会」発足
- 平成12年「統合中学校の服装を考える会」発足
- 平成12年「せいろう共育ひろば みらいのたね」発足  
「統合中学校を育てる会」が名称変更し、地域  
教育応援団として再スタート

## 統合中学校の開校

### ○平成13年「新聖籠中学校」開校

- ・町民と共に創る「聖籠町民立聖籠中学校」
- ・年度末に「学校株主総会」（現在は、「未来を語る会」



町民あがての学校づくりには、学校評議員制度よりは学校運営協議会制度が理念に合致するとして滑らかな導入を可能にする要因となった。

## CSの指定と学校支援地域本部の設立①

- 平成13年4月  
聖籠中学校開校（町民が参画した町民立学校の開校）
- 平成17, 18年度  
コミュニティ・スクール推進事業  
「町民と共に創る学校」の具現
- 平成19年度  
全小・中でコミュニティ・スクールの試行
- 平成20年度  
全小・中をコミュニティ・スクールに指定（本格実施）
- 平成21年度  
学校支援地域本部設立  
（全小・中にコーディネーター配置）  
コミュニティ・スクール推進協議会（東京会場）で亀代  
小学校学校が実践発表

## CSの指定と学校支援地域本部の設立②

- 平成22年度  
コミュニティ・スクール推進協議会（秋田会場）で聖籠  
中学校が実践発表
- 平成25年度  
上越市とのコミュニティ・スクール情報交換会
- 平成26年度  
コミュニティ・スクール推進の取組実践研究
- 平成27年度  
コミュニティ・スクール導入等促進事業（取組の充実）  
実践研究



- 生涯学習推進
- サークル活動
- 公民館事業
- 町主催文化・スポーツ事業
- 社会教育課事業
- スポーツネットせいらう事業
- 図書館
- 町民会館 (体育館、武道場、トレーニングセンター、文化会館、多目的ホール、中央公民館、郷土文化財調査)
- サッカー場、軟式球場 (3カ所)、テニスコート
- 多目的屋内運動場 (3カ所)
- 町の生涯学習センター
- わいせつな環境 (学習室、読書資料館)
- 歴史資料館 (いにしえ)
- まちづくりセンター、まちづくり工房
- 民間型「まちづくり」交流センター、読書館、地域交流館「なごみの家」
- 郷土博物館
- 地区公民館 (3カ所)、地区公民館

総合教育会場		教育委員会会館		豊後町教育委員会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア講座「あいまゆり」(留守り隊)</li> <li>「あいまゆり」(読み聞かせ)</li> <li>「読書ネットせいらう」</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全パトロール</li> <li>通学路の整備・点検</li> <li>交通安全指導隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民会</li> <li>民生委員・児童委員協議会</li> <li>保護協会</li> <li>青少年健全育成町民会</li> <li>老人クラブ連合会</li> <li>豊後町地区交通安全協会豊後支隊</li> <li>交通安全隊の会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年就労協議会</li> <li>農工会</li> <li>農林会協議会</li> <li>漁協、漁業</li> <li>林業研究会</li> <li>地域行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊後町教育委員会</li> <li>公民館運営協議会</li> <li>社会教育課</li> <li>児童福祉課</li> <li>文化財保護協議会</li> </ul>	せいらう共育ひろばみらいのたね スポネットせいらう
(社会福祉協議会)		行政 (町、他市町村)		地域 (町民、団体、企業、他市町村)	

<4次級> 機・ふれあい、夢づくり―協働による町民自身の実現― <豊後町子ども条例>

## 学校運営協議会運営の概要①

### ○目的

- ・ 地域住民及び保護者等の学校運営への参画を進め、保護者、地域住民、学校による連携強化を図る。
- ・ 学校と地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組む。

### ○委員の構成と任期

- ・ 保護者、地域住民、有識者、学校支援コーディネーター、校長など15名以内。任期は1年(再任可)

### ○会議の開催

- ・ 年間8回まで謝金措置。原則公開。過半数の出席で成立、議決は、出席者の半数以上で

### ○会議内容

- ・ 学校運営の基本方針等の承認、学校運営や教育活動についての意見、学校関係者評価の実施等

## 学校運営協議会運営の概要②

### ○事務局

- ・ 学校運営協議会委員の中から依頼。開催案内、資料作成、議事録の作成と教育委員会への報告、協議会だよりの発行（年1回程度）など

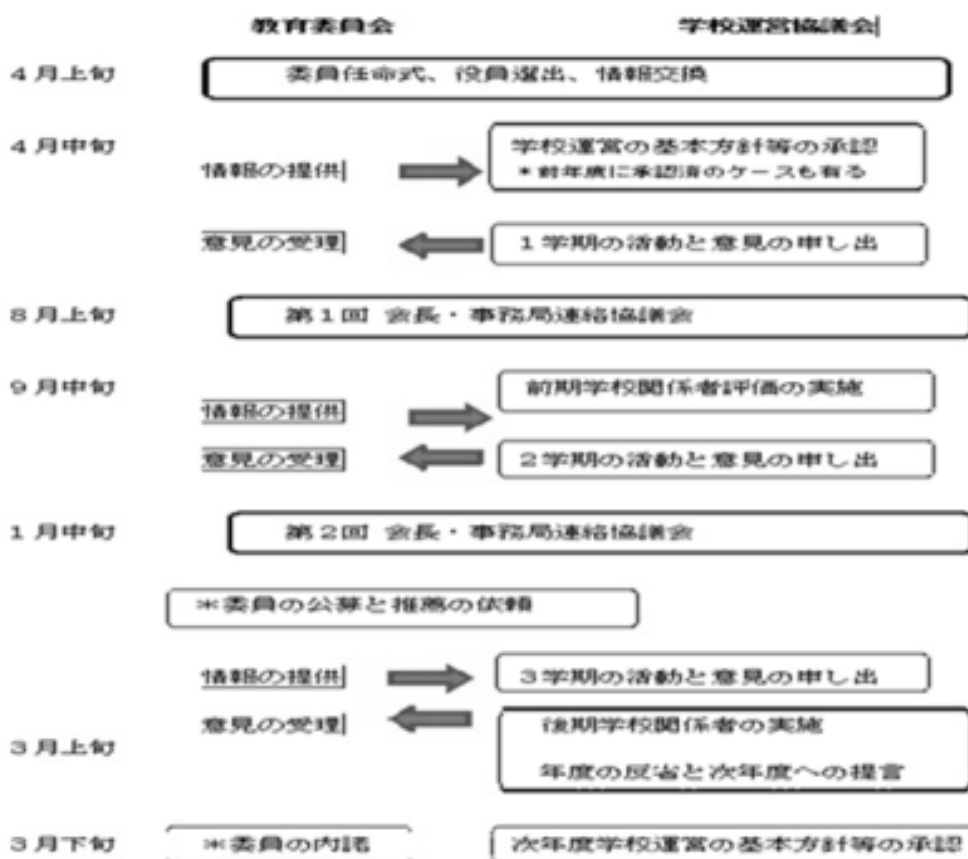
### ○教育委員会（校長）

- ・ 適切な情報提供と説明、委員の研修、教育委員会による指定の取消、委員解任

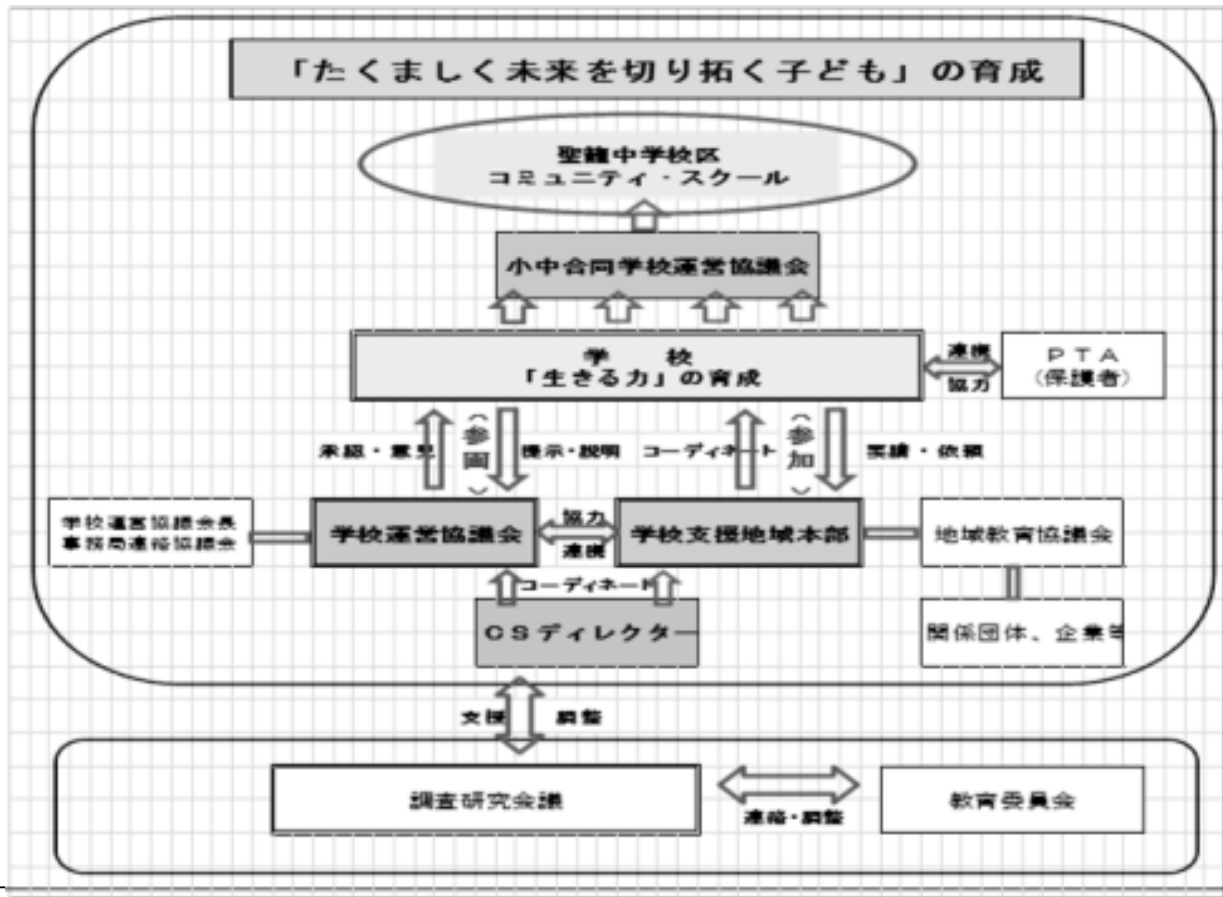
### ○会長・事務局連絡協議会

- ・ 年間2回程度開催、取組に関する情報交換及び研修、改善のための提言

## 活動の流れ（通常）



# 平成27年度 研究推進体制



## 平成27年度 研究推進概要①

### ○研究課題

1. コミュニティ・スクールの質的向上を図る取組に関すること

- (1) 「熟議」による保護者・地域住民の「参画」の充実
- (2) 学校運営、教育活動の改善・充実に資する学校関係者評価の充実と中学校区を含めた学校関係者評価システムの構築
- (3) 学校運営協議会委員の資質向上と後継者育成のための研修の工夫

## 平成27年度 研究推進概要②

### ○研究課題

2. 幼小中12年間を見据え、学校・家庭・地域の協働による教育力の向上を図る取組に関すること

- (1) 学校運営協議会と学校支援地域本部の一体的参画・参加による、学校の運営活動・教育活動への支援活動の推進
- (2) 中学校区が一体となった学校運営協議会の運営の工夫と公立3こども園(幼稚園)を含めたCSシステムの導入の模索

## 平成27年度 実施計画 4月～9月

実施時期		計 画 事 項	
月	日	学校運営協議会	その他の会議・取組等
4	14	◎学校運営協議会任命式 ◎第1回学校運営協議会 (計画作成)	
5		◎第2回学校運営協議会 (協働体制の構築と学校評価の理解)	◎第1回調査研究会議 (研究内容の審議)
6			
7		◎第3回学校運営協議会 (1学期の振り返りと2学期に向けて)	○全国コミュニティ・スクール研究大会 (実践発表と分科会参加)
8		○第1回小中合同学校運営協議会 (情報交換と今後の改善策)	○第1回学校関係者評価研修会 (前期学校関係者評価に向けて)
9		●第1回学校関係者評価委員会 (前期学校関係者評価の実施)	◎第2回調査研究会議 (前期の検証と改善策)



## 平成27年度 実施計画 10月～3月

実施時期		計 画 事 項	
月	日	学校運営協議会	その他の会議・取組等
10		◎第4回学校運営協議会 (後期の学校運営について)	○他市町村との交流研修 (CS推進の課題と改善策)
11		○第2回小中合同学校運営協議会 (次年度、中学校区CSの在り方)	
12			◎第3回調査研究会議 (後期の検証と改善策)
1		◎第5回学校運営協議会 (後期の検証と改善策)	○第2回学校関係者評価研修 (後期学校関係者評価に向けて)
2		●第2回学校関係者評価委員会 (後期学校関係者評価の実施) ○第3回小中合同学校運営協議会 (小中共通評価項目の策定)	◎第4回調査研究会議 (総括と次年度への提言)
3		◎第6回学校運営協議会 (年度の総括と次年度に向けて)	

## 学校支援地域本部事業の概要①

### ○地域コーディネーター

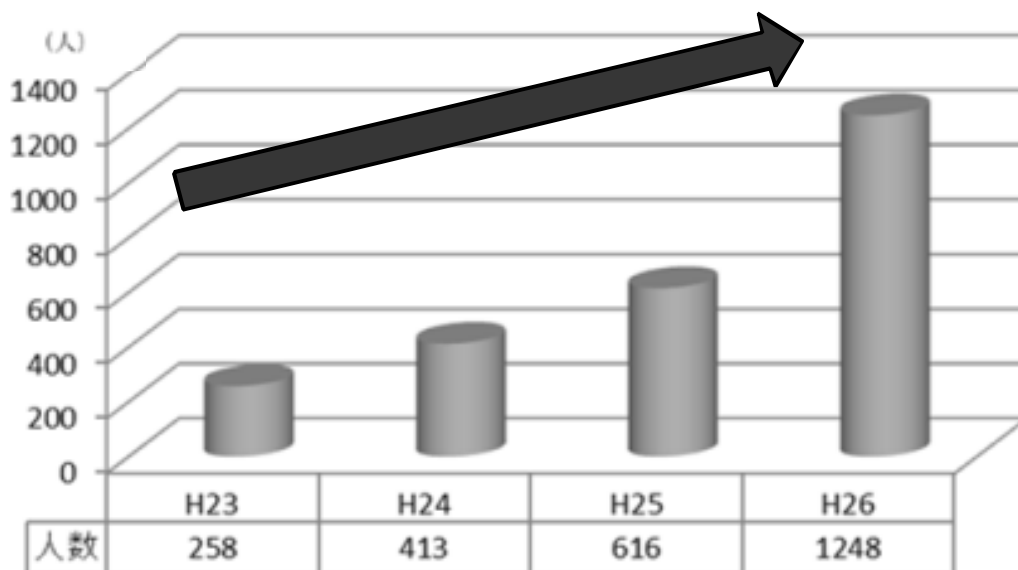
- ・全小中4校に配置、学校での業務は、週4時間程度行う。  
うち1名は、事務局員として社会教育課に常駐

### ○地域コーディネーターの職務

- ・学校支援活動の企画、連絡・調整、実施に関すること
- ・学校支援ボランティアの募集、組織、整備に関すること
- ・ボランティア活動実施前のガイダンス及び反省会に関する  
こと
- ・本部事業の工夫と改善に関すること
- ・地域コーディネーター研修やボランティア養成に関する  
こと
- ・地域教育協議会の運営

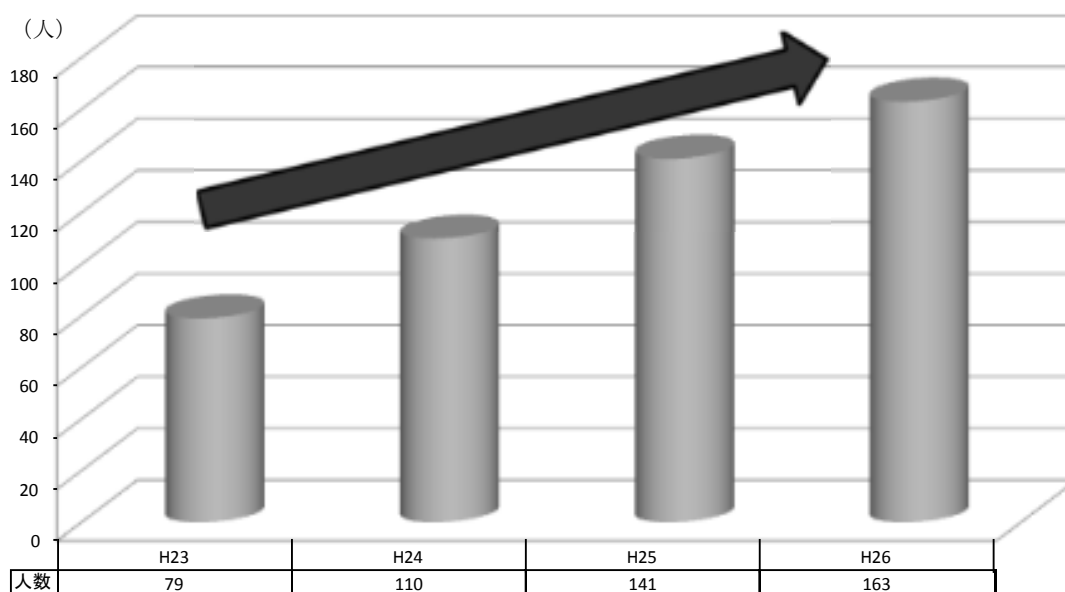
## 学校支援地域本部事業の概要②

### 学校支援サポーター活動実績延べ人数



## 学校支援地域本部事業の概要③

### 学校支援サポーター登録延べ人数



# 学校支援地域本部事業の概要④

## ○学校支援ボランティアの主な活動例

(環境サポート)

- ・ 登下校の見守り、安全指導、校外パトロール、花壇清掃、中庭手入れ、草刈り、植木の選定、教材教具の修理等

## ○学校支援ボランティアの主な活動例

(学習サポート)

- ・ 校外学習の引率補助、畑や田んぼづくり、本の読み聞かせ、各教科学習の支援、学校行事の準備、補助など

# 学校支援地域本部事業の概要⑤

**聖益町学校 支援地域本部**  
**ひろがる ふれあい みつける よろこび**  
ひろみよ 精神

子どもたちを中心に、地域のいっしょな人が学校に集まって、活動していくことは、学校支援地域本部は、この「ひろみよ精神」を大切に、学校がいっしょな

地域と学校がふれあい、よろこびを共に分かち合うことを目指していきたくて、(人)で満たされた笑顔の心を育てたいと思っています。

**事務局のあいさつ**  
子どもたちの成長や学習と関係するには、心の中、心で伝えます。この子どもたちも成長を促す。そんな思いで子どもたちを育てたいです。このように、子どもたちから、学校から「ありがとう」です。「来た、お歸りなさい」の言葉が大切にされています。みなさんの理解と協力がこの活動の鍵です。子どもたちのパワーとみなさんの理解と協力がこの活動の鍵です。子どもたちの成長を促すには、心の中、心で伝えます。この子どもたちも成長を促す。そんな思いで子どもたちを育てたいです。このように、子どもたちから、学校から「ありがとう」です。「来た、お歸りなさい」の言葉が大切にされています。みなさんの理解と協力がこの活動の鍵です。

**聖益町学校支援地域本部とは**  
文部科学省より国の事業として、学校・社会教育委員を軸として、かつ学校支援

**しくみ**  
学校支援地域本部の基本的な仕組みは、「地域教育協議会」「地域コーディネーター」「子どもサポーター」で構成されています。

**学校支援地域本部**  
地域教育協議会  
地域コーディネーター  
学校  
子どもサポーター

**子どもサポーターの声**  
＜活動内容・感想＞  
初めて活動に参加しました。子どもたちがリーダーを一生懸命練習し「できた」と喜ぶ姿にも感動してました。「楽しかった」「面白い」と言いながらも真剣に取り組む姿に感動しました。  
笑顔であいさつをしてくれてうれしかったです。

**子どもサポーター交流会**

**活動実績**

年度別	サポート活動の依頼件数	参加人数
2016	15件	79名
2017	40件	258名
2018	55件	467名

※2018年度(2018年10月～2019年3月)のデータ

・地域教育協議会 設立  
・地域への説明会  
・学校支援地域本部幹事会開催  
・地域コーディネーター 学校説明  
・子どもサポーター交流会 → 各校および学校支援地域本部との連携

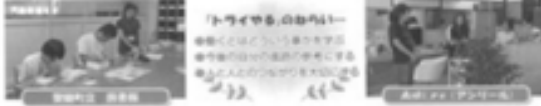
# 学校支援地域本部事業の概要⑥

## 学校支援地域本部事業 ひろがる ふれあい みつける よろこび

【夏休】 8月4日～8日 職場体験「トライやる」 サポーター数6人参加 6校



夏休み期間に行われた職場体験「トライやる」。サポーターの皆さんが生徒に同行し、初めての職場体験で緊張している生徒の気持ちと、チェックシートを活用しながらゆるやかなりと職場体験が出来るかどうかなどのサポートを行いました。ゆるやかな



【山小】 7月1日～19日 6年生「エプロン作り」 サポーター数5人参加 5校  
夏休み期間に、エプロン作り、エコバック作りなど、サポーターが協力して、児童の生活スキルを身に付けてもらいました。



【山小】 7月19日 2年生「野菜カレーを作ろう」 サポーター数6人参加 5校  
夏休み期間に、サポーターと一緒に、調理実習を行いました。

問い合わせ：聖徳町学校支援地域本部（聖徳町民会館内）西27-2121  
地域コーディネーター：新保利文・佐久間千恵・堀 弘寿・大森幸子

校舎裏側より 2019年7月撮影

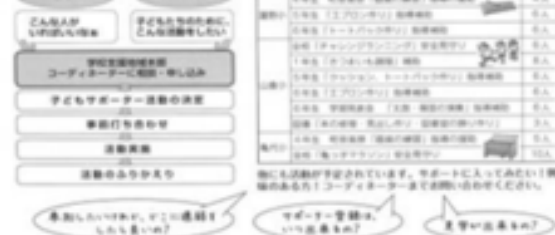
## 学校支援地域本部事業 ひろがる ふれあい みつける よろこび サポート活動の様子

【夏休】 8月1～3日 「交通安全地域研修」 補助 サポーター数10人参加 1校



夏の暑い時期、交通安全研修を実施。児童の交通安全意識の向上を図るため、交通安全について、質問をしながら、交通安全の重要性を学ぶ。また、交通安全の重要性を学ぶ。交通安全の重要性を学ぶ。

子どもサポーター活動の流れ



問い合わせ：聖徳町学校支援地域本部（聖徳町民会館内）西27-2121  
地域コーディネーター：新保利文・佐久間千恵・堀 弘寿・大森幸子

校舎裏側より 2019年7月撮影

# 学校運営協議会運営の成果①

## ○主な成果

- ① 地域住民に学校の様子を見てもらう機会や、地域住民と児童生徒との触れ合う機会が増加した。  
(敷居が低くなる)
- ② 外部の視点から建設的な意見を学校運営や教育活動に反映できる。
- ③ 地域の人材などの有益な情報が容易に得られる。
- ④ 学校運営の考えや教育活動の情報が、口コミでも伝わるなど、学校への理解が深まった。
- ⑤ P T A, 学校支援地域本部、地域の企業、各種ボランティア団体、関係機関などとの情報共有や協力・連携が一層進んだ。
- ⑥ 児童生徒の規範意識が高まった。  
(良好な人間関係づくり、問題行動の減少)

# 学校運営協議会運営の成果②

## ○主な成果

- ⑦ 児童生徒の自尊感情が高まった。（学習意欲や進路意識の高まり、不登校児童生徒数の激減）
- ⑧ 学力が向上した。（NRTの経年変化から）
- ⑨ 「聖籠町12年カリキュラム構想」による教育課程編成を後押し。

## \* 聖籠町12年カリキュラム構想とは

幼・小・中の12年間で一貫して身に付けさせたい力を中核とするカリキュラム構想のこと。学力向上、社会性の育成、体力向上、健康・安全の4部会を構成し、特に、以下の点を重点化して取り組んでいる。

- ① 聖籠町が育てたい子ども像から指導内容の系統性を踏まえた各教科領域等の単元配当表を作成し、各校園の年間指導計画の指導の重点を明示する。
- ② 「どの子どもも分かる授業実践」を通して重点単元の指導計画の整備・充実を図るなど、すべての教師が共通認識をもって指導する際の基本モデルを策定する。

聖籠町 幼・小・中「12年カリキュラム」育てたい子ども像  
～学校・家庭・地域の参画と参加により、「生きる力」を育み、子どもたちの個性を伸ばしていきましょう～

## たくましく未来を切り拓く子ども

1 本リーフレットは、聖籠町の「12年カリキュラム構想」により、幼・小・中で一貫して育てたい子どもの姿をまとめたものです。

2 12年間を通して育てたい子どもの姿を  
【学力向上】  
【社会性育成】  
【体力向上】  
【健康安全】  
の4本の柱で表しています。

3 具体的な子どもの姿や家庭教育で大切にしたい点については、年度初めに配付される「シラバス（年間指導計画）」をご覧ください。

**意欲的に学ぶ**  
主体的・協働的に学習に取り組む、確かな学力を身につける  
進んで学習に取り組む、基本的な知識や技能を身につける

**よりよい人間関係を築く**  
規範意識と他者意識をもつ、いろいろな人と関わる  
ルールとマナーを守り、相手の気持ちを考えながら、人と関わる

**目標に向かって運動する**  
目標に向かって、自分のペースで取り組む  
目標に向かって、運動の楽しさを味わう

**健康な生活をする**  
生活習慣の重要性を理解し、実践する  
よりよい生活習慣を身につけていく

**中学校**

**小学校**

**子ども**

**園**

いろいろな活動に興味をもって取り組み、言葉で表現する

**言葉**

自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする

**表現**

ルールとマナーを守り、楽しく生活する

**人間関係**

生活の中で様々なものに触れ、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる

**環境**

基本的な生活習慣を身につける

**健康**

(幼稚園教育要領より)

**学力向上**  
【取組の手立て】  
○誰にでも分かりやすい授業の推進  
○生活ノート等を活用した家庭学習習慣定着の推進  
○メディアコントロールや防犯など、家庭における学習環境の整備

**社会性育成**  
【取組の手立て】  
○社会的スキルの育成  
○豊かな体験活動と、異年齢・校種間交流活動の推進  
○家庭・地域と連携したあいさつ、言葉遣い、社会的ルールの指導

**体力向上**  
【取組の手立て】  
○一人一人の記録を基にした目標の設定  
○楽しさを実感させる授業の推進  
○スポーツせいろうや各種スポーツ団体等と連携した活動の推進

**健康・安全**  
【取組の手立て】  
○食生活の改善につながる食育の推進  
○歯科保健の計画的実施  
○家庭と連携した早寝、早起き、朝ごはんの習慣づくり

2015年4月  
聖籠町12年カリキュラム委員会  
聖籠町教育委員会

## 学校運営協議会運営の課題①

### ○主な課題

- ① 委員の任期と選出方法
  - ・ 任期1年の委員の選出に苦心
  - ・ 任期を長くすると、引き受け手が減る
  - ・ 委員構成のバランス（偏らない構成）
- ② 事務局の負担が大きい
- ③ 事務局員の後継者探しと育成
- ④ 委員の向上心を高めたり後継者の育成を図ったりするための研修や他市町村CS視察研修や交流会の工夫
- ⑤ 持続的・発展的なコミュニティ・スクールとなるよう全町的なワークショップやシンポジウムなど、「教職員・児童生徒・保護者・地域住民が共に学び合う」体制を確立する仕掛け

## 学校運営協議会運営の課題②

### ○主な課題

- ⑥ P T A，学校支援地域本部などとの一層円滑な協力体制・連携体制の確立
- ⑦ 批判的応援団も含む肯定的応援団への緩やかな転換
- ⑧ 学校運営協議会の開催回数（8回）の見直し
- ⑨ 学校運営協議会テーマによる開催計画
- ⑩ 学校運営協議会の活動の様子などについての広報活動の工夫・充実（委員の充実感・満足感を高める）
- ⑪ 学校運営協議会の在り方の検討  
（小・中合同学校運営協議会、会長・事務局会議の拡大）



ご清聴、ありがとうございました



# 「参画」と「参加」による 持続的・発展的コミュニティー・スクールの構築

聖籠町の今後の目指す方向と  
地域に愛される学校づくり、地域を愛する子どもの育成に向けた  
地域と学校が協働して行動するCSの取組

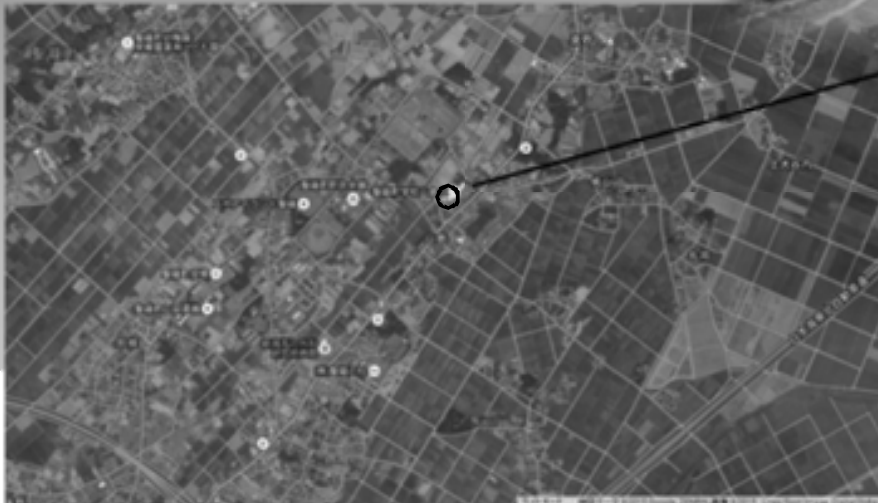
新潟県北蒲原郡 聖籠町立 山倉小学校 学校運営協議会



## 山倉小学校と地域の概要

明治20年4月創立(128歳)  
児童数 279人 (6%)  
地域人口 4578人 (平成27年5月末)

歴史と伝統のある既存集落と  
新興住宅地が混在する田園地帯に立地



山倉小学校

児童1人を16人の  
地域住民が支える

校区内の様子





## 学校を取り巻く周囲の状況

PTA(保護者)の協力  
～持ち回り当番～

運動会・学習発表会  
広報活動など

小学校

地域のサポート  
～ボランティア活動～

学校サポーターによる学習支援  
(学校支援地域本部)  
登下校時の見守り活動など  
ボランティア団体「あい&ゆう」

学校と子どもたちに対する地域の関心は高まりつつあるが、  
ネットワークがまだまだ限定的である

興味はあるんだけど、参加してみたいけど、ひとりでは恥ずかしい…  
そんな地域の方も多いはず

地域全体で学校を支えるCS体制づくりを進めたい



## 学校運営協議会のチャレンジ

PTA

小学校

学校運営協議会

学校関係者評価だけでなく  
相互の懸け橋になろう！

地域

地域の皆さんを給食試食会(懇親会)にお招きしてPRを試みるも

何者だ！？ PTAと何が違うんだ！？

保護者でなければ学校が身近でない  
学校と地域のニーズマッチングが不足  
学校関係者評価が地域から見えない

より良い協働関係を構築するため学校運営協議会の役割は重要なんだけど

地域との関わり方が難しい



## 学校運営協議会の役割と課題

小学校

学校は地域の  
声を聴く

学校運営協議会

ランドデザインをベースとした  
相互のニーズマッチング

地域

地域は学校を  
知る

地域に愛される学校づくり  
地域を愛する子どもの育成

お手本となる先行事例を学びたい  
地域の方々と活発な意見交換ができるようになりたい

聖籠町教育委員会の研修でスキルアップしよう



## 平成26年度の研究課題

「学校運営協議会委員の有用感を高め、  
保護者や地域の理解を深める情報発信及び啓発」

学校運営協議会委員(12名)

- 保護者委員6名  
(PTA副会長・商工会含む)
- 地域委員3名(民生委員含む)
  - 学校支援地域本部
  - 子ども園長・小学校長

教育委員会主催研修に参加

- ・熟議の手法研修
- ・三鷹市視察研修(会長のみ)
- ・他市町村との交流研修
- ・学校関係者評価研修①
- ・学校関係者評価研修②

地域と学校の課題を熟知したディレクターになるんだ!

委員に求められる役割が明確になり自信がついた



# 平成26年度の実践内容

## 地域の皆さんとの交流会・座談会(ミニ熟議)を実施

実施日:平成26年12月4日

参加者:47名 (老人クラブ・交通安全指導員・交番所長・週末体験クラブ  
商工会・民生委員・児童委員・学校支援地域本部・あい&ゆう  
社会体育指導員・町青少年育成員・PTA・子どもサポーター)

交流会:児童会主催の秋祭り(子どもたちによる手作り出店)を参観

座談会:「山倉小学校の子どもたちを語ろう会」  
テーマ① 地域での子どもたちの様子  
テーマ② 山倉の子どもたちにどんなふうに育ってほしいか

# 学校運営協議会委員がファシリテーターと書記を担当



# 平成26年度の実践内容

## 交流会・座談会の様子



発想の豊かさ、年少者に対する思いやりの心に感心



挨拶が良いね  
マナー向上が課題

町の歴史を学び、町に誇りを持たせたい



様々な人と触れ合い豊かに育ってほしい

地域は徳育の先生！

# 地域から協働に向けた積極的な意見をたくさん頂戴



## 平成26年度の成果

- 研修を活用することで、協議会委員のスキルアップが図られた  
地域とランドデザインに沿った対話ができるようになり  
学校関係者評価でも活発な議論ができるようになった
- 地域との交流活動の意義が地域に理解され、継続を求められた
- 学校や子育てに対する地域の意識も変化した  
山倉の子どもたちは良い子ばかりだ  
学校の先生は替わるが、地域の人には替わらない  
地域ぐるみの子育てが必要だ  
地域行事などを通し、地域と子どもたちのつながりを作り、  
子どもたちを育てよう  
世代を超えた地域交流の機会を設けたい

地域の誇りある学校と協働する地域の機運が高まった



## 今後の方向性

持続的・発展的コミュニティー・スクールを構築するために

未来の地域と学校を支えるのは今の子どもたち



地域と学校の交流活動(意思疎通)はCSの活性化に必要不可欠

地域全体で協働することで既存協力者への負担感を低減  
新しい学校運営協議会委員の育成につなげていく

今の保護者の協力も！

地域と学校の良い関係を維持・発展させたい